

認知症のある人の福祉機器展示館

● 何を目的とした展示館？ ●

近年、海外では、認知症のある人が用いる福祉機器が注目され、普及し始めています。しかし、国内では、市販されている機器はまだ少なく、機器の情報や実際に機器に触れる機会などが不足しています。そこで、この展示館では、国内外から収集した認知症のある人の福祉機器（約60点）を展示し、機器を見て、触って、体感できる機会を提供することを目的にしています。

● 認知症のある人の福祉機器とは？ ●

認知症では、脳神経細胞の大幅な減少等により、記憶障害（例：夕食を食べたことを忘れる）や、見当識障害（例：時間の流れや自分のいる場所が分からなくなる）といった脳の情報処理の障害が生じます。認知症の軽度から中度の段階では、脳の情報処理の障害を補ったり、脳の機能を維持・向上する機器を用いることで、自分の力を活かして生活を営むことができます。

● どんなものが展示してある？ ●



アラーム付き薬いれ



服薬時間を音と光で伝え、飲む分量だけ薬を出せる。

心理セラピー人形



「ケアをする」ことで精神的な安らぎを得る



ディスプレイナー



点灯しているランプの数で予定までの残り時間を確認できる。

探し物発見器



探し物の位置を音で知らせる。

西武新宿線 航空公園駅 東口
または 新所沢駅 東口から
徒歩15分